

【NEWS RELEASE】

2019年7月19日

各位

株式会社三井住友銀行

阪急阪神リート投資法人に「SMBC環境配慮評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、阪急阪神リート投資法人（執行役員：白木 義章）に「SMBC環境配慮評価融資」を実施いたしました。

「SMBC環境配慮評価融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業の環境配慮状況を評価し、環境経営における今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する融資商品です。

今回対象となった、阪急阪神リート投資法人に対する環境配慮状況の評価結果は、「環境保全対策の取組の状況」「環境負荷の把握の状況」「環境マネジメント」などの面で高い水準であると判断され、資産運用において良好な環境配慮を実施されている、「A」の評価となりました。

特に、今回の評価に当たっては、以下の点等が高く評価されました。

2018年11月に制定したサステナビリティ方針のもと、省エネルギーや再生可能エネルギー、節水や廃棄物削減に取り組み、効果を把握するとともに、テナントやテナントの従業員にも広く活動への参加を促しておられる点

環境配慮に関する外部認証取得の推進を、物件の準共有者らにも働きかけ、「阪急西宮ガーデンズ」や「HEPファイブ」ではそれぞれの建物の特性に沿った高い評価を獲得しておられる点

サステナビリティに関する目標を個人個人も持つことで、全社一体となって環境マネジメントと企業経営の融合に取り組んでおられる点

三井住友銀行では、REITに対して「SMBC環境配慮評価融資」を取り組むことで、本業を通じ、環境に配慮した社会の実現に貢献をしております。

（阪急阪神リート投資法人が保有する環境配慮物件の代表例）



グランフロント大阪



阪急西宮ガーデンズ



HEPファイブ

以上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。